

海津市就学援助認定申請書

年 月 日

海津市教育委員会 宛て

申請者 住 所  
(保護者)氏 名  
電 話

年度における海津市就学援助費の給付を受けたいので申請します。

なお、本受給資格の審査のために、現有公簿による所得額等を確認される事に同意します。

対象児童生徒 (対象入学予定者) 学校 学年 (入学予定学校 新学年)	海津市立		ふりがな			
	学校	学年	氏 名 生年月日 性 別	年 月 日(男・女)		
家 族 欄	続 柄	氏 名	生年月日	職業(勤務先)又は学校名 ( . 4. 1現在学年記入)	年間所得額	家庭状況
住宅の形態	種 類	1 持家	2 借家	3 借間	4 公団・市営住宅	
	家賃(月額)					
年金受給の有無	種 類		年額( 年度決定通知額)			
有 ・ 無	老齢・障害・遺族・寡婦					
給付の方法	1 委任方式  (援助費の受領給与その他一切を学校長に委任)			2 口座振替(希望する金融機関に振込)		
				金 融 機 関	銀行・農協・金庫 支店 普通・当座	
				ふ り が な 口 座 名 義 人		
				口 座 番 号		

(注) (1)各欄は、必ず記入、又は該当する箇所を○で囲むこと。

(2)家族欄は、生計をともにしている方全員について記入すること。

(3)同居で生計を別にしてしている場合などの家庭状況や年間所得額は、必ず記入すること。

世帯全員の収入のわかるもの(前年の源泉徴収票の写し又は、課税証明書等)を必ず添付すること。

(4)児童扶養手当受給世帯は、児童扶養手当証書(写し)を必ず添付すること。

(5)給付方法については、学校徴収金等を滞納した場合は、委任方式になります。

(裏面にも記入してください。)

あなた(世帯全員)は、次のどの事項に該当しますか。その番号を○で囲み、記入を要する箇所は必要事項をご記入ください。

- 1 生活保護法に基づく保護を受けている、又は保護を必要とする状態にある。
- 2 生活保護法に基づく保護の停止者又は廃止者である。
- 3 市民税が非課税又は減免されている。
- 4 個人の事業税が減免されている。
- 5 固定資産税が減免されている。
- 6 国民年金の掛金が減免されている。
- 7 国民健康保険料の減免又は徴収の猶予を受けている。
- 8 児童扶養手当の支給を受けている。(証書写し添付)
- 9 生活福祉資金貸付制度の貸付を受けている。
- 10 失業対策事業適格者手帳を有する日雇労働者又は職業安定所登録日雇労働者である。
- 11 その他 経済的に生活が困難である。(生計をともにしている方全員の収入額等で審査します。)

注意 上記について、虚偽の申請により給付を受けていることが判明したときは、認定を取り消し、既に給付した援助金の全額又は一部の返還を命じます。

この欄は、申請者は記入しないでください。

所 見 欄	<p>民生児童委員の意見(この用紙に書けないときは「別紙のとおり」とのみ記入し、別紙にくわしく記入してください。)</p> <p>就学援助の申請に関する生活状況等の調査結果を上記のとおり報告します。</p> <p style="text-align: right;">担当民生委員</p>
	<p>校長の意見(複数回答可)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 保護者の職業が不安定で、生活状態が悪いと認められる。</li><li>2 生活状態が悪いため、学校納付金を減免している。</li><li>3 生活状態が悪く、学校納付金が滞りがちである。</li><li>4 被服等が著しく悪く、また、学用品や通学用品等に不自由している。</li><li>5 経済的理由による欠席日数が多い。</li><li>6 その他(具体的に記載すること。)</li></ol> <p>上記の者を就学援助を必要とする児童生徒として報告します。</p> <p style="text-align: right;">校長</p>